

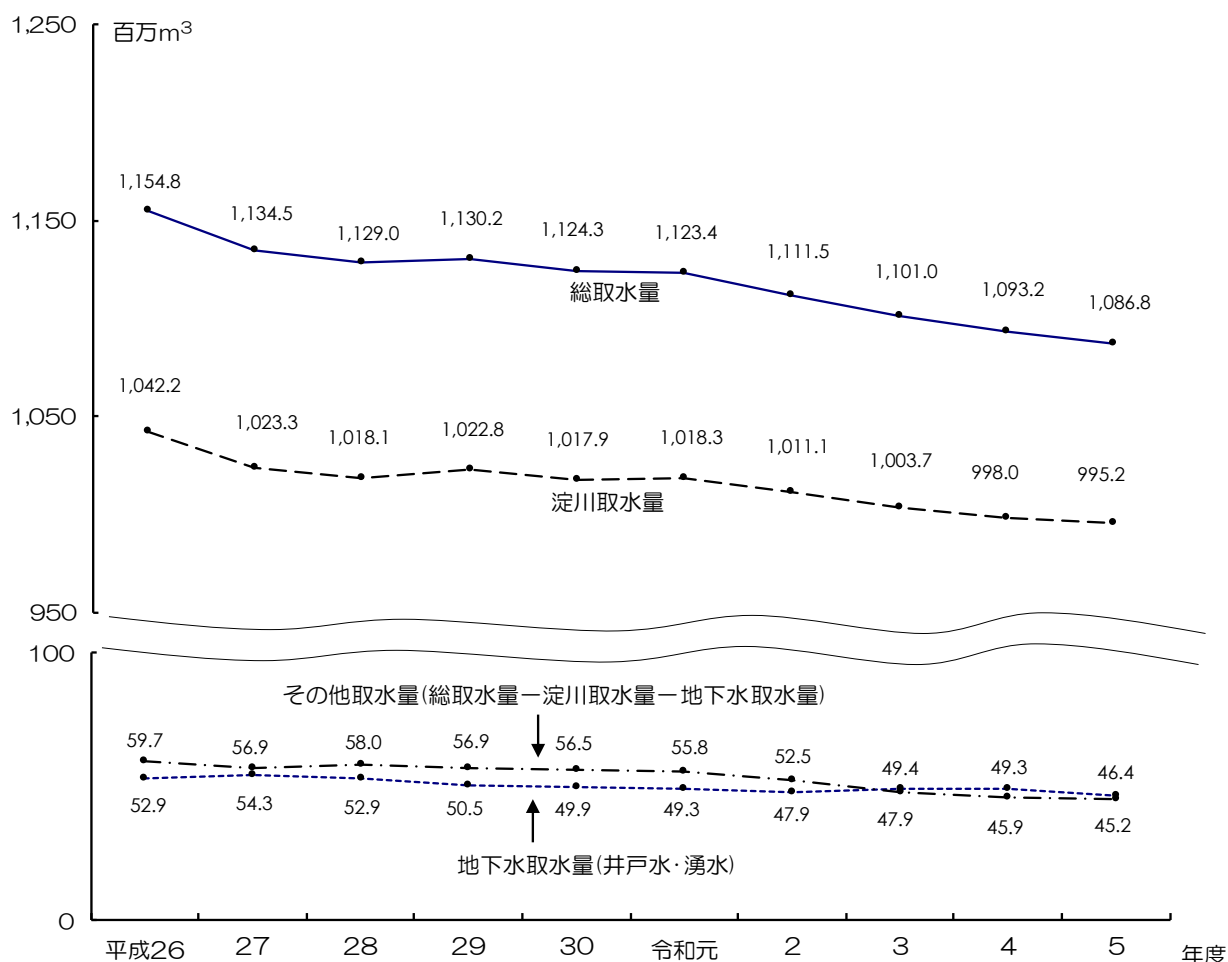
(2) 年間取水量と水源内訳

年間取水量は平成4年度の1,419.0百万 m^3 をピークとし、以降は減少し続けている。令和5年度の年間総取水量は1,086.8百万 m^3 で、令和4年度より6.4百万 m^3 減少した。(図-5)

府内の取水源は淀川を除き、ほとんどが中小規模の河川であり、流域面積が小さく、流況も不安定になっている。全取水量に占める淀川以外の表流水の割合は令和5年度で約4.2%(45.2百万 m^3)と少なく、地下水の取水量について近年は横ばいとなっている。

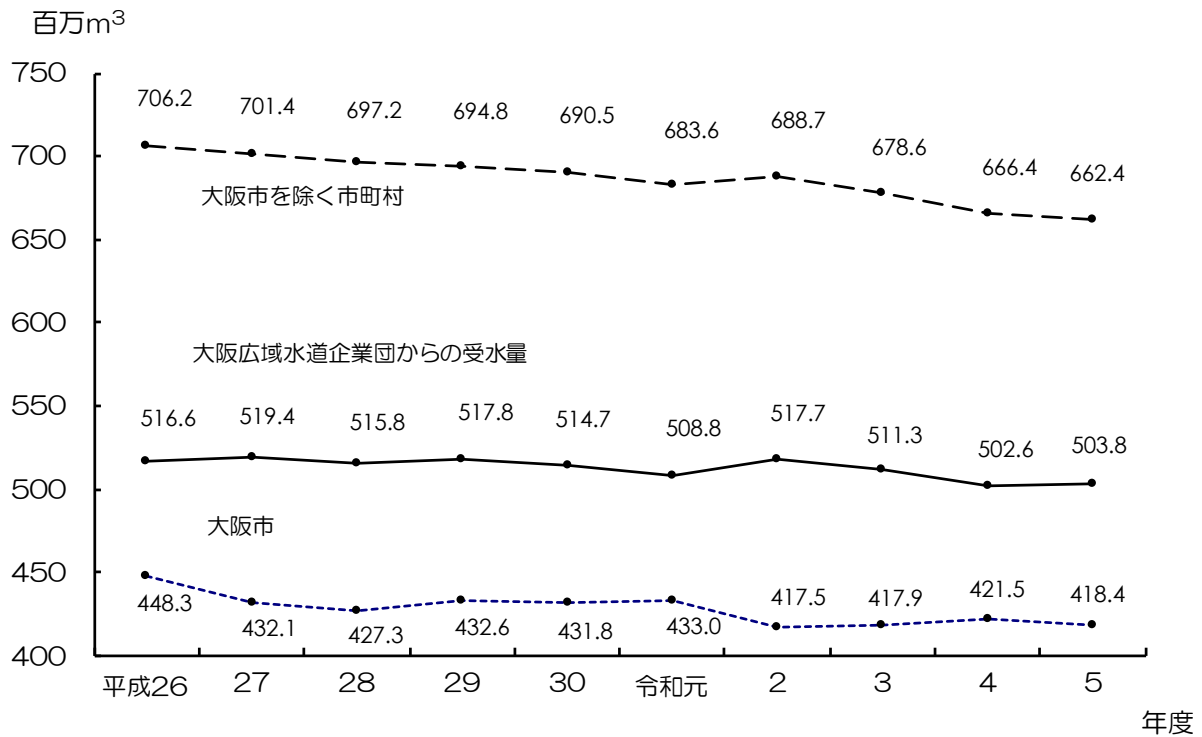
このため、大阪府の水道水源は、上流に琵琶湖をもつ淀川に大半を依存しており、その依存率は令和5年度で91.6%に達し、現在、大阪広域水道企業団並びに大阪市、吹田市、枚方市及び守口市が淀川から取水している。

図-5 上水道の水源別取水量(用水供給を含む)



なお、大阪市を除く市町村水道の大阪広域水道企業団からの受水量は、令和5年度は503.8百万m³である（図－6）。その依存率は76.1%で、近年は横ばい傾向となっている（図－7）。

図－6 上水道の年間取水量



図－7 大阪市を除く市町村上水道の企業団水依存率

